

市民との意見交換会を開催します

場所 いきいき情報センター2階

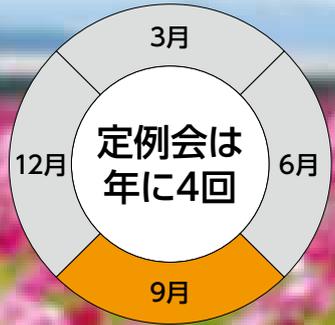
日時 令和5年11月19日(日)

10:00~12:00

申込 不要

内容 全体会・分散会(3常任委員会)

※詳しい内容については市議会ホームページやポスター・チラシをご覧ください



12月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
					本会議 市長提案理由説明	
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 質疑・委員会付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	
17	18	19	20	21	22	23
		本会議 委員長報告・質疑 討論・採決				

議会を傍聴してみませんか

本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます。詳しくは議会事務局までご確認ください。

- 決算特別委員会 48P
- 9月定例会リポート 50P
- 議決結果一覧 51P
- 一般質問(個人質問) 52P
- 特別委員会の設置 59P
- 常任委員会所管調査報告 59P



決算審査 特別委員会

令和4年度 各会計の決算を認定しました

令和4年度決算特別委員会にて一般会計、所管常任委員会にて特別会計・公営企業会計について審査を行い、9月20日の本会議において認定・可決されました。



令和4年度 一般会計・特別会計決算

単位:円

会計別		歳入	歳出	差引残額
		決算額(A)	決算額(B)	(A-B)
一般会計		31,753,699,010	29,484,792,478	2,268,906,532
特別会計	国民健康保険事業	6,894,457,778	6,794,703,051	99,754,727
	後期高齢者医療	1,400,995,636	1,354,993,295	46,002,341
	介護保険事業	5,616,902,567	5,550,290,980	66,611,587
	住宅新築資金等貸付事業	4,357,977	2,854,797	1,503,180
合計		45,670,412,968	43,187,634,601	2,482,778,367

令和4年度 公営企業会計決算

単位:円

会計	科目	決算額	科目	決算額
水道事業	収益的収入	1,566,656,706	資本的収入	364,912,200
	収益的支出	1,288,970,584	資本的支出	1,363,964,756
	収益的収支	277,686,122	資本的収支	▲999,052,556
下水道事業	収益的収入	1,826,712,307	資本的収入	235,126,580
	収益的支出	1,412,965,983	資本的支出	870,605,459
	収益的収支	413,746,324	資本的収支	▲635,478,879



※不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

令和4年度 市債・基金残高(普通会計)

単位:千円

区分	R3年度末	R4年度末	増減額
市債	20,693,761	19,510,307	▲1,183,454
基金	5,706,972	6,541,104	834,132



「市債」は市の借金、「基金」は市の貯金にあたります。



太宰府市の お金の使い方をチェック

決算審査で交わされた質疑の中から、委員の関心が高かったものを掲載しています。
金額については1万円単位で記載しています。

Q 市長と語る会の実施状況について

A コロナ渦であったこともあり、令和4年度は実施しませんでした。
この間市長と語る会の今後の開催方法等を検討していました。

Q 「令和の都太宰府ふるさと納税基金積立金」1億円に関して、基金の目的と用途について

A 令和の都のまちづくりに活用することを目的に、主に新たな行政需要に対応するための基金です。

Q コミュニティバス「まほろば号」の運行改善に向けての検討状況について

A 「まほろば号」を含む市全体の交通計画の中で検討しているところです。



Q 固定資産税が大きく増加した理由について

A 令和3年度のみ適用されたコロナ対策の固定資産税の軽減措置が終了したことが主な要因です。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費に関して、コールセンター委託料(9,104万円)と会場運営委託料(1億4,096万円)の業務委託の契約方法について

A 両委託契約ともに随意契約となっています。

Q 鳥獣被害防止対策事業補助金に関連してイノシシ等の有害鳥獣の捕獲数が増加しており、本市と隣接する大野城市、筑紫野市及び宇美町との連携した対応について

A 有害鳥獣の捕獲状況等の情報共有を行っています。



Q 「市民の森」に関して、市民と共同で行った検討会議を踏まえ計画をまとめたものについて

A 「市民の森」の維持管理についての計画の策定を行っているところです。

Q 令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業委託料(405万円)の内容について

A 梅の実分析調査研究業務委託料(100万円)、
「蝶矢謹製大宰府梅酒」の製造委託料(264万円)
および梅の実の収穫作業委託料(41万円)です。



Q 小中学校のオンライン家庭学習環境の整備に関して、モバイルルーター(本体購入台数250台、通信契約台数113台、貸出台数11台)の活用状況について

A 保護者アンケートを参考に250台を購入しましたが、実際に申し出を受け付けたところ、貸出台数は11台という結果になりました。

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に始めた事業のうち、同交付金が無くなった後も一般財源により継続して行う事業はあるか

A 来年度の予算編成の過程で、しっかり検討していきたいと考えています。

9月

定例会レポート

○令和5年第3回定例会(令和5年8月25日～9月20日) 会期27日間

○人事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

⇒人権擁護委員に鎌石洋子氏、木村千鶴氏、馬場礼子氏を適任と答申しました。《諮問第1号、2号、3号》

適任

○専決処分

◆令和5年度太宰府市一般会計補正予算(専決第3号)

⇒7月に発生した大雨による災害を受け、一刻も早く復旧に向けた取組を行うため、歳入歳出それぞれに3億4,725万3千円を追加し、予算総額は303億1,472万5千円になりました。《議案第40号》

承認



○条例

◆太宰府市子育て支援センター条例の一部を改正する条例

⇒児童福祉法等の改正に伴い、こども家庭センター事業を行うにあたり、条例を改正しました。《議案第42号》

原案可決

○請願・意見書

◆太宰府市議会基本条例に基づき、提出された請願は所管の常任委員会に付託・審査された上で自由な討議で議論を尽くすことを求める請願書

⇒即日採決ではなく、太宰府市議会の常任委員会での審理及び報告を踏まえた上で太宰府市議会の本会議において自由な討議により議論を尽くして請願の是非を判断することを求めるものです。《請願第1号》

不採択

◆教育予算の拡充等を求める意見書

⇒教育予算の拡充や中学校・高等学校での35人学級の早期実現、教職員定数の改善を求めるものです。《意見書第5号》

原案可決

○令和5年度一般会計補正予算(第3号)

◆歳入・歳出それぞれ16億9,992万円4千円を補正追加し、総額は320億1,464万円9千円になりました。

原案可決

①高齢者物価高騰緊急支援給付事業

費目	補正予算額	事業内容
社会福祉費	1億2,109万円	エネルギー・食料品価格等の高騰の影響を受ける高齢者に対し、生活支援として給付を行うもの。

②市立小中学校の給食費無償化

費目	補正予算額	事業内容
教育総務費	9,524万円	エネルギー・食料品価格等の高騰が続く中、小中学生の給食費を3カ月分無償化することにより、小中学生の子育て世帯を支援するもの。



③物価高騰対策支援

費目	補正予算額	事業内容
企画費	300万円	コミュニティバス運営費
社会福祉費	694万円	高齢者施設等関係費
	19万円	障がい者施設等推進費
児童福祉費	301万円	市立保育所管理運営費、教育・保育施設費

エネルギー・食料品価格等の高騰が続く中、エネルギーコスト等の補助することにより、活動を支援するもの。

④市内地下道安全対策事業

費目	補正予算額	事業内容
道路橋梁費	1,375万円	大雨時に冠水等の危険性が高い市内地下道7カ所について、危険性の低減を図るための対策を検討するとともに、一部の地下道についての安全対策を講ずるもの。

⑤基金への積み立て

費目	補正予算額	事業内容
総務管理費	5億407万円	公共施設整備基金 公共施設の老朽化に伴う今後の改修や更新、長寿命化対策などに備えるため。
	2億円	財政調整資金
企画費	3億円	令和の都太宰府ふるさと納税基金
社会福祉費	3億円	地域福祉基金

※主なものを掲載しています

9月定例会 全会一致で議決した議案

議案番号等	案件名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度太宰府市一般会計補正予算(専決第3号))	承認
議案第41号	市道路線の認定について	可決
議案第42号	太宰府市子育て支援センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第43号	令和5年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第44号	令和5年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第45号	令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第46号	令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第47号	令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
認定第2号	令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和4年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
認定第7号	令和4年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
報告第7号	令和4年度太宰府市健全化判断比率の報告について	—
報告第8号	令和4年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第9号	令和4年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第10号	太宰府市土地開発公社の経営状況報告について	—
報告第11号	公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について	—
報告第12号	公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について	—
発議第2号	特別委員会(手話言語条例調査研究特別委員会)の設置について	原案可決

9月定例会 賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

議案番号等	案件名	議決結果	公明党		宰光		新風		市民の声		未来のまち		市民ネット		無会派			
			小島貞由美	堺剛	陶山良尚	原田久美子	入江寿	船越隆之	門田直樹	今泉義文	長谷川公成	橋本健	木村彰人	馬場礼子	徳永洋介	森田正嗣	神武綾	笠利毅
認定第1号	令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
請願第1号	太宰府市議会基本条例に基づき、提出された請願は所管の常任委員会に付託・審査された上で自由な討議で議論を尽くすことを求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	※	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○
意見書第5号	教育予算の拡充等を求める意見書	原案可決	○	○	×	×	×	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※門田直樹議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。
 ※以下の会派名について、一部省略して記載しています。
 市民の声：太宰府市民の声 市民ネット：太宰府市民ネット 無会派：会派に所属していない議員



さかい
剛
つよし
議員

問 適正な行政事務執行のために内部統制制度を充実せよ



録画映像はこちら

Q 行政サービスを安定的、持続的、効率的かつ効果的に提供するため、人口減少社会に的確に対応する行政組織の確立が求められていることから、3点伺う。

- ①組織マネジメントの観点から、内部統制の整備と運用の改善が必要ではないのか。
- ②地方公共団体が事務を適正に処理するための体制を新たに整備する必要はないのか。
- ③新たに内部統制部局を設けて、監査委員制度の強化を図るべきではないのか。

A 副市長 ①経営会議や副市長・部長会議等で全庁的なリスク管理等の組織マネジメントを行っております。市政に対する市民の信頼性を引き続き確保するためにも、リスク管理や法令順守等の在り方を、常に研究することが重要であると考えます。

理事 ②今後も引き続き、他自治体の状況把握をはじめ、当市にふさわしい内部統制制度の在り方を追求していきたいと考えます。
③総務省のガイドラインでは、内部統制制度は監査制度の充実強化とともに導入されるべき



市役所1階

ものとされています。監査制度の充実強化につきましても調査研究してまいります。

全質問項目

- ◇本市の内部統制環境について
- ◇本市の地域課題解決の取り組みについて



はせがわ
長谷川
こうせい
議員

問 青山地区へのまほろば号乗り入れの検討状況を知りたい



録画映像はこちら

Q 現在、まほろば号が通っていない青山地区への乗り入れについて3点伺う。

- ①まほろば号の延伸協議の際、青山地区については協議しなかったのか。
- ②現在、まほろば号のバス停と西鉄バスの既存バス停が重複しているバス停の利用状況について。
- ③高雄回りを青山地区に延伸すべきと考えるが、その見解について。



A 部長 ①昨今の予期せぬコロナ禍、物価高騰、乗務員不足など取り巻く環境は厳しさを増し、まずはその運行維持に努めているところです。現時点では、青山地区を含め、まほろば号延伸の具体的な計画はありません。

- ②重複しているバス停の利用状況は、まほろば号の全バス停のうち約2割程度です。
- ③まほろば号乗り入れについては、既存路線との調整も必要で、本市の交通全体の中で考えていく必要があります。今後も情報収集、地域公共交通計画策においての議論を参考に総合的に本市にとって、どのような公共交通の在り方が適しているか調査研究を重ねてまいります。

全質問項目

- ◇青山地区へのまほろば号の乗り入れについて
- ◇安全安心な通学路について
- ◇高尾川の改修工事について



問 本市の今後の学校教育は

とくなが ようすけ
徳永 洋介
議員



録画映像はこちら

Q 本市の学校教育の課題と方向性について3点伺う。

- ①民間スポーツクラブによる水泳授業について
- ②部活動の地域移行について
- ③本市の学校現場における働き方改革について

A **理事** ①平成31年3月議会にて

民間プールを活用しての水泳授業の予算を計上し、令和元年度より開始しました。当初は移動手段や移動時間に課題がありました。学校の時制の工夫や民間事業者との協議などを行い、毎年度、時間確保に努めています。

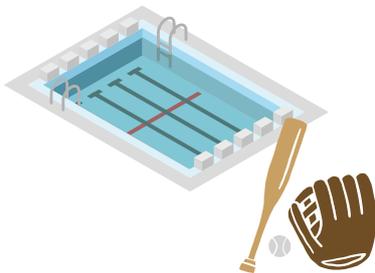
②受け皿となる団体の確保や指導者の確保及び育成、施設管理と利用

方法、指導者の報酬に係る費用負担等の多様な課題があります。中学校長と市教育委員会関係課長等で会議を開催するとともに、本市独自の事業「部活動外部指導者派遣事業」を有効活用し指導者の確保や育成に取り組んでいます。

③令和元年度よりタイムレコーダーを導入し、令和3年度には働き方

改革取組指針を策定しました。今後も、教員不足解消を国や県に要望しつつ、学校のICT化や部活動の外部指

導員の活用により教職員の負担軽減に取り組んでいきます。



全質問項目

◇本市の学校教育の課題と方向性について



問 防災は、市の責任かそれとも自己責任か

タカノスキッド
議員



録画映像はこちら

Q 防災は市の責任か自己責任か、3点伺う。

- ①インクルーシブ防災の現状は。
- ②自主避難所開設の際、避難者への備蓄品の提供はできないのか。
- ③防災事業の予算を拡充するために積極的に財政改革を行う考えはあるか。

A **市長** ①高齢者、障害のある方、妊産婦、乳幼児など一般の避難所での生活が困難な配慮が必要な避難者対象の福祉避難所として6施設、その他の避難所を含めると、本市の避難所は、99施設指定されています。

②自主避難所は、法的根拠に基づいて開設している避難所とは異なり、市が独自に開設しているものです。把握している限り、近隣の自治体も含め、県内の自治体全てにおいて、避難者に食料等を持参していただくようになって

います。

③防災事業については何よりも優先順位を高くして予算を確保し、専

決や補正予算、予備費、基金なども最優先に活用しています。したがって、行財政改革を行うて防災事業の拡充を行うという考え自体が本質的ではないと考えています。

全質問項目

◇防災は市の責任か自己責任か
◇本市のプロポーザル(企画競争)入札は透明性・公平性が守られているか
◇梅プロジェクトについて



問 市民意識調査は政策立案に活用されているか

木村 彰人 議員

Q 令和4年度市民意識調査は、調査項目69項目に及ぶが、市民の意見やニーズをさらに深く分析することで、潜在的な政策のアイデアを見出すことが出来る。調査結果の活用に関して3点伺う。

A 理事 ①調査結果は、経営企画課で精査したうえで庁内共有し、各所管においても分析を進め、政策立案の検討プロセスにおける基礎資料として活用しています。

化することで、施策についての評価や見直しに活用しています。

①市民意識調査分析結果をどのような方法や手順で政策立案に生かしているのか。
②市民意識調査分析結果から導かれるまちづくりの課題と、それらを解決する具体的な政策とは。
③政策評価の実施状況は。

②今回の調査結果から効果的な行政運営に対する評価は5年連続上昇しています。市政運営に対しての一定の評価をいただいたものと受け止めています。結果に慢心することなく市民満足度の向上に努めていきます。
③本市の各種計画における成果指標として活用し、計画の目標を明確化、進捗や成果を可視

全質問項目

- ◆政策立案の貴重な情報源である「市民意識調査」の活用について
- ◆7月10日の豪雨被害から学ぶ災害への備えについて



市民意識調査報告書



録画映像はこちら



問 市民の個人情報や自衛隊にわたすな

神武 綾 議員

Q 8月4日、太宰府市は18歳、22歳を迎える就職適齢期1389人分の個人情報を自衛隊に提供したことに ついて、2点伺う。

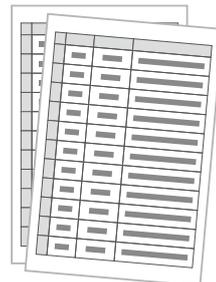
A 市長 ①防衛や災害対策を考えると自衛隊の重要性は高まっています。国が新たな閣議決定を行い地方公共団体に通知を 発出したことを重く受けとめ、提供を行って きました。今年度は議員からの指摘、署名、個人情報をめぐる市民意識の高まりなどを踏まえ、より市民感情に 寄り添い丁寧な対応とすべく、除外申請制度を設けました。決裁も 市長が行っています。

①今年度、市は新たに名簿提供の除外申請制度を設けることとし、それにより自分の情報の提供を拒否する住民がおられた。また、情報提供は中止すべきとする署名が511筆、市長に届けられた。それでもあえて今年も提供した理由とその手続きは。
②来年度以降の対応は。

②提供するとしてきた理由は大切にしつつ、より市民感情等も考慮して判断していきます。

全質問項目

- ◆自衛隊への個人情報提供について
- ◆災害対応について
- ◆マイナンバーカードについて



録画映像はこちら



問
なぜ政庁まつりの会場を変更するのか

ふなこし たかゆき
船越 隆之 議員

Q 太宰府市民政庁まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年から2022年までの3年間開催されなかったが、2類から5類感染症に移行され、4年ぶりに開催されることとなった。会場決めにあたっては、第1回実行委員会で、事務局から今年は政庁跡で開催したいと話があった。なぜとびうめアリーナでなく政庁跡になったのか伺う。

A 部長 今年度は、4年ぶりの開催になることや、本市の誇る唯一無二の特別史跡政庁跡での開催を望むご意見が多いことから、令和発祥の地となった政庁跡に戻し9月30日に開催することが実行委員会で決定されました。

一方で政庁跡をはじめとする史跡の利用の在り方に疑義が呈された事実もあり、可能な限り史跡を傷めず、広く市民に開かれた形式で開催されるのが肝要だと考え、少し趣を変えたまつりを楽しんでもらいたいと考えられています。



録画映像はこちら

全質問項目

- ◇太宰府市民政庁まつりについて
- ◇四王寺林道の側溝整備について



問
空き家を生じさせない予防対策を進めよ

はしもと けん
橋本 健 議員

Q 全国的に深刻な問題となっており、本市の空き家の現状とこれまでの取組について。

A 部長 ①平成28年度に空き家等実態調査を実施し、712件の空き家が判明しました。令和2年度には空き家等対策計画を策定し、各関係機関と協定を締結し、連携の強化を図っています。

②空き家が増加傾向にあり、事前の予防が必要であると考えるが、課題とその対策について。
③空き家の利活用の促進のために、国の補助を活用した積極的な支援制度を推進する考えはないか。

家に関するセミナー等も開催しています。
③既に国の空き家対策モデル事業を活用しており、今後も空き家等に関する補助事業の活用について、調査研究を進めます。



②空き家等の発生を未然に防止する予防が重要ですので、ホームページやパンフレットで、空き家に関する情報提供等を行うとともに、関係機関との情報共有を図っています。空き

全質問項目

- ◇本市の空き家対策について



録画映像はこちら



問 共生社会の実現に向けて

おばた まゆみ
小島 真由美
議員



録画映像はこちら

Q ①障害者情報アクセスIBILITY・コミュニケーション

推進法が施行されたことを踏まえ2点伺う。

(1)視覚障がい者の公的通知等への音声コード導入について

(2)マルチメディアデザイナー図書活用について

②日本初開催デフリンピック周知と本市出身選手を応援する取組について

③パラスポーツ体験や、福祉団体等の事業PR等のイベントをとびうめアリーナで開催したり福祉まつりの規模を拡大する等、啓発活動をはかってはどうか。

④網膜色素変性症の方

問 共生社会の実現に向けて

暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付事業対象に追加できないか。

⑤年齢を問わず軽・中等度難聴者への補聴器購入費助成ができないか。

A 部長 ①(1)導入を進め、日常生活用具給付事業制度の周知に努めます。(2)デザイナー図書を活用している福岡県立図書館につながるためのホームページ等の準備整備を進めます。

②市民の皆様と一緒に市出身選手の活躍を盛り上げていきます。

③実行委員会でご企画する福祉まつりの内容が充実したものになるようバックアップします。

④先進自治体を調査研究し、他自治体の動向に注視いたします。

⑤補聴器購入費助成制度の拡充のため全国市長会を通じて要望いたします。



全質問項目

◇共生社会の実現に向けた取り組みについて

Q 水城小学校の通学路になってい

る歩道橋は腐食や損傷箇所が見られるが、現地調査及び補修工事を早急に行うことは可能か伺う。

また他の歩道橋の補修計画があれば伺う。

A 部長 市内に歩道橋は2か所あり、多くの生徒が利用しています。古川歩道橋は福岡国道事務所、水城小学校正門前の歩道橋は福岡県那珂県土整備事務所が管理者となっております、速やかに修繕修理の要望をそれぞれの管理者に行ってまいります。また水城小学校正門前の歩道橋のステップ部分は補修を実施されることを既に確認しています。



問 市内通学路の歩道橋の補修計画は

はらだ くみこ
原田 久美子
議員



録画映像はこちら



全質問項目

◇市内通学路の歩道橋について
◇いきいき情報センターのエスカレーターについて



問 高齢者福祉計画の進捗は

もりた まさつぐ
森田 正嗣 議員



録画映像はこちら

Q 高齢者福祉計画の進捗について

2点伺う。

① 社会福祉法第4条第1項及び同法第6条第1項の趣旨は何か。

② 高齢者、要介護者の生活支援体制整備事業の到達モデルはどのようなものか、また、現在の到達レベルはどのようなものか。

A 部長 ① 法第4条第1項では地域住民が主体であると明記されているが、全て住民任せではなく、例えば地域支援コーディネーターが地域の方々等と協力しながら、高齢者が暮らしやすい地域づくりの推進を図って

いくことが望ましいと認識しています。国および地方公共団体の責務について示している法第6条第1項については、今後とも法に基づき適切に対応していきます。

② 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるような支え合いの仕組みづくりには、住民、行政、自治会、NPO、民間企業などの多様な主体で取り組み、自助の視点での健康寿命の延伸、互助の視点でのお互いさまの活動を増やすことを目指しています。現状では、生活支援



コーディネーターが中心となり、高齢者の地域における困り事等を支え合いで解決するための住民主体の取組を進める活動をしています。

全質問項目

- ◇ 高齢者福祉計画の進捗について
- ◇ 災害時避難計画の進捗について



問 中学校教育の充実を

いりえ ひさし
入江 寿 議員



録画映像はこちら

Q 学校教育は、教員の働き方改革を理由に部活指導を民間へ移行するなど教員と生徒との接点が少なくなり、生徒指導が難しくなると考え、本市の今後の中学校教育について5点伺う。

① 生徒の指導方法の見直しの必要性について

② 教科指導の質の変化に伴う生徒への負担軽減について

③ 学校での学習環境を整える朝自習等の実施について

④ 部活をしている生徒の家庭学習環境の実態と指導について

⑤ 太宰府中学校独自のMICHIZANEノート取り扱いについて

A 理事 ① 家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力で生徒指導の充実に取り組んでいきます。

② 生徒負担を考慮し効果的な指導を行うよう学校に引き続き指導していきます。

③ 生徒の学習状況に応じて、最適な方法、手段を研究しながら朝の貴重な時間の活用を継続していきます。

④ 部活動加入率は、市全体で1年生が84%、2年生が82%です。部活動生徒に対しても家庭学習について指導しています。

⑤ MICHIZANEノートは、自身で計画

をたてて学習を進めていく事になっていきます。今後、生徒の負担となる状況が発生すれば取り組み方について検討していきます。



全質問項目

- ◇ 中学校教育について



問 学校以外にも
多様な居場所を

馬場 礼子 議員



録画映像はこちら

Q 不登校児童・生徒の自殺リスク

学校で1.27倍に増えています。

部長 ②既存の市の取組のほか、民間の子ども食堂もあります。これらの周知と支援の充実を図ります。市では生活支援課が中心となっており、多くの支援団体が参画しやすい環境づくりに努めます。

の高さが指摘される一方、学校に通えない子どもは増え、しかも相談もできずにいる子どもも多い。

⑤フリースクールや在宅学習を出席扱いにするルールを作るなどして学校との連携を進めています。

部長 ⑥今年度の重点事業として策定手順の検討を進める準備をしています。

自分に目を向けてくれる居場所を意図的に作る必要があるため6点伺う。

①本市の不登校の状況

②市の取組、情報提供、人材育成

③子ども食堂については施設利用料の免除、冷蔵庫の設置等をしていきます。今後支援策についての話し合いを続けます。

④子どもの声を聞くための取組

⑤フリースクールの扱い

⑥子どもの権利条例について

理事 ④教職員が連絡帳や相談ポストを通じて声をかけたり、タブレット上に相談先一覧を貼り付けるなどしています。

A 理事 ①令和4年度は前年度より小学校で1.38倍、中

学校で1.27倍に増えています。

②既存の市の取組のほか、民間の子ども食堂もあります。これらの周知と支援の充実を図ります。市では生活支援課が中心となっており、多くの支援団体が参画しやすい環境づくりに努めます。

全質問項目

◇子どもの「多様な居場所」づくりについて



Q 2020年6月に、多様化する高齢者の生活ニーズに

A 部長 今後予想される人口減少の本格化や高齢者の運転免許証の返納増加、運転手不足の深刻化など公共交通の維持・確保は容易ではないと認識し、早期の地域公共交通計画、総合交通計画の策定に着手しています。

高年齢者の生活ニーズに对应して欲しいという趣旨でタクシー代補助の可能性について質問したところ、近隣の状況を参考に調査するとこの回答だった。

市内の公共交通といえは、まほろば号が思い浮かぶが、市内公共交通の維持は、タクシーなど既存の他の交通手段も視野に入れて考えるべきである。改めてタクシー利用補助を訴えたいが市の見解を伺う。

市内の公共交通といえは、まほろば号が思い浮かぶが、市内公共交通の維持は、タクシーなど既存の他の交通手段も視野に入れて考えるべきである。改めてタクシー利用補助を訴えたいが市の見解を伺う。

市内の公共交通といえは、まほろば号が思い浮かぶが、市内公共交通の維持は、タクシーなど既存の他の交通手段も視野に入れて考えるべきである。改めてタクシー利用補助を訴えたいが市の見解を伺う。

タクシー利用の補助については、心身に重度の障がいのある人の社会活動の範囲を広げ、日常生活の利便を図る事を目的にタクシー利用料金の一部(初乗り運賃)を助成しています。



問 生活のための交通補助

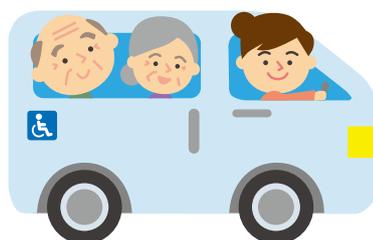
笠利 毅 議員



録画映像はこちら

全質問項目

- ◇生活のための交通手段の確保について
- ◇歴史スポーツ公園について
- ◇子どもの権利条例制定を求める署名について
- ◇自衛隊への個人情報提供について





Q 平成29年をピークに減少傾向だった特殊詐欺件数は、令和2年から再び増加傾向に転じている。そこで、高齢者が詐欺や消費者トラブルに巻き込まれないための方策に関して、2点伺う。

①本市における高齢者の詐欺被害や消費生活相談の現状について。

②市民が詐欺や消費者トラブルに巻き込まれないための市の対応について。



いまいずみ よしふみ
今泉 義文
議員

問 詐欺や消費者トラブルから高齢者を守れ

A 部長 ①本市の特殊詐欺件数は、令和2年は5件で被害総額が約1,120万円、令和3年は13件で約1,480万円、令和4年は5件で約200万円、令和5年は6月時点で3件、約300万円です。65歳以上の被害割合は、令和2年は71%、令和3年は89%、令和4年は77%となっています。また、令和4年度の消費生活相談件数の約半数が60代から90代でした。

②市民の防犯意識を向上させるために、ホームページへの防犯メッセージの掲載、広報の防犯だよりの活用、防

犯専門官による出前講座等、防犯に対する注意喚起を行っています。また、消費者トラブルを未然に防止するため、消費生活センターに相談員を配置し、相談いただくよう周知啓発に努めます。

全質問項目

- ◇高齢者の詐欺被害や消費者トラブルについて
- ◇防火体制の整備について



録画映像はこちら

特別委員会(手話言語条例調査研究特別委員会)の設置

手話を必要とする者の意思疎通及び自己形成の手段としての利用を推進し、誰もが安心して生活できる共生社会の実現等を趣旨とする手話言語条例の制定に向けた調査研究を行うために設置しました。

- 委員長 小島 真由美
副委員長 笠利 毅
委員 門田 直樹・長谷川 公成・陶山 良尚・入江 寿・森田 正嗣・馬場 礼子・タコスキッド

所管調査報告

総務文教常任委員会

日にち: 令和5年7月14日(金)
調査先: 福岡県立太宰府特別支援学校、教育支援センター、文化ふれあい館



文化ふれあい館

福岡県立太宰府特別支援学校は、大佐野にある県下で1番大きな特別支援学校で、生徒数は、平成20年比で1.6倍と増えています。教員不足・専門性向上・若手教員育成が課題で、今後、県内に3校の特別支援学校が新設予定です。

教育支援センターは坂本にあり、不登校生徒・児童の自立や学校復帰に向けて指導をしています。市内小中学校と連携しながら対策を講じています。

文化ふれあい館は国分にあり、史跡を案内する施設でありながら、地元の方が利用する公民館に近い機能と埋蔵文化財を調査する機能を兼ね備えています。今後、デジタル化を進め、保存と活用に向けたデータ作りを継続していきます。

現地の調査を通して、改めて知りえた情報や特有の問題について今後も注視していきます。

環境厚生常任委員会

日にち：令和5年7月19日(水)

調査先：筑紫保育園、太宰府くじら保育園、
五条くじら小規模保育園、障害者支援施設宰府園、
特別養護老人ホームサンケア太宰府ユニット



障害者支援施設宰府園

環境厚生常任委員会の所管調査において5つの施設を調査しました。

そのうち、障害者支援施設宰府園では、就労継続支援として、利用者の方が木工製品の創作活動に没頭されていました。記念品なども作られているので、多くの皆さんにご利用いただきたいです。コミュニティホールは福祉避難所として市と提携を結んでいます。一般の方向けではなく、支援が必要な方の避難所となっています。

建設経済常任委員会

日にち：令和5年7月20日(木)

調査先：福岡地区水道企業団水質センター、
海水淡水化センター



水質センター

水質センターは私たちの水道水を科学的に検査し安全を担保している施設です。福岡都市圏の水道水の約1/3を占める筑後川からの水に限らず太宰府市の水道水も当センターで適時、高度に専門的な検査で水質を確認しています。

海水淡水化センターは稼働開始から約20年が経ち、設備の更新期に入っています。先駆的な海水淡水化施設でしたが、海底の砂によるろ過効果が非常に高いことが分かったことで工程の簡略化を行うなど、いまも技術の革新を進めています。

日本の水道水は、単に気候や国土の恵みというだけではなく、私たち社会の不断の努力で保たれているという認識を市民と分かち合いたいです。

◇編集後記◇

今年は、気象状態が著しいものでした。毎日のように猛暑日が続き、各地では線状降水帯の影響で大雨の被害があり、災害の問題が著しく変化している状況です。

私の幼少期には、こんな気候になるなんて思いもしていませんでした。

秋の運動会では、その季節しか食べられない甘ずっぱい青ミカンや梨、柿、栗が用意され、母が朝早くから作ってくれた弁当を持って家族で応援してくれた事に感謝です。

今の子どもたちが大人になったころ、子どものころの良い思い出をいっぱい話せるよう育ててほしいと願います。

また、登下校時に風と共に漂うキンモクセイの香りは、今では懐かしい秋の香りです。

(久)

議会広報特別委員会



委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
タコスキッド	馬場礼子	今泉義文	木村彰人	堀利剛	笠利毅	原田久美子